

令和4年度ICRP調査・研究連絡委員会「外部専門家との意見交換会」

参加費
無料

日時：令和4年12月13日(火) 14時00分～17時00分

形式：ZOOM ウェビナーによるWEB セミナー

テーマ：**リスク指標とリスク比較について**
ー リスク管理、放射線防護およびリスクコミュニケーションの視点から ー

主催：公益財団法人放射線影響協会

リスク評価においては生涯死亡確率などのリスク指標が評価され、リスク管理においてはその指標を用いたリスク比較が行われ、管理方策の目安として利用されます。その事例として大気中のベンゼン規制や、放射線防護における線量限度の設定などがあります。近年、公衆衛生分野から生まれ、WHO が提唱する DALY を用いたリスク評価やリスク比較が行われています。公衆衛生政策として有害物質のリスク評価、リスク管理で統一的なリスク指標が有用なのか、リスクのコミュニケーションの視点も入れて、その可能性と課題について各分野の専門家を交えて意見交換を行います。

プログラム

- 14:00 ~ 14:05 開会の辞** 放射線影響協会
- 14:05 ~ 15:25 講演 進行役 甲斐 倫明 (ICRP 主委員会委員)**
- 14:05 ~ 14:25 リスク学におけるリスク比較の役割
岸本 充生 (大阪大学教授)
- 14:25 ~ 14:45 リスクアナリシスの点からみたリスク比較
村上 道夫 (大阪大学特任教授)
- 14:45 ~ 15:05 公衆衛生における DALY の評価とその効用
野村 周平 (慶應大学特任准教授・東京大学特任助教)
- 15:05 ~ 15:25 放射線分野のリスク指標：デトリメント
甲斐 倫明 (日本文理大学教授 / ICRP 主委員会委員)
- 15:25 ~ 15:35 休憩**
- 15:35 ~ 16:35 ラウンドテーブル討論 モデレーター 甲斐 倫明**
- パネル討論のポイント ① リスク比較の役割
② リスクの表現について、リスク評価との関係
③ リスク指標のもつべき条件
- パネラー (予定)：講演者 (岸本 充生・村上 道夫・野村 周平) に加え
小笹 晃太郎 (C1 委員)、島田 義也 (C1 委員)、
細野 眞 (C3 委員) 吉田 浩子 (C4 委員)
- 16:35 ~ 16:55 質疑応答** モデレーター 甲斐 倫明
- 16:55 ~ 17:00 閉会の辞** 放射線影響協会

※ ICRP 第1~4 専門委員会 (C1~C4)

◆申込方法: セミナーへの事前登録

ZOOM URL へ移動し今すぐ登録

- ▶ セミナー登録 URL からの事前登録、先着順となります。
- ▶ 登録に不備があった場合等、お申込みを受け付けられない場合がございます。

◆締め切り: 令和4年12月9日(金)14時

- ▶ 応募者多数により参加できない場合がございます。
 - ※ セミナー当日は、事前登録した氏名・メールアドレスでご参加ください。
 - ※ セミナーの録画・録音、SNS などへの投稿はご遠慮ください。
 - ※ いただいた個人情報とは今回のセミナーの手続き等、セミナーに関する事以外には使用致しません。